

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
鹿足郡地域	津和野町、吉賀町、鹿足郡事務組合	平成25年度～平成29年度	平成25年度～平成29年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t %
	1事業所当たりの排出量	t	t	t %
	生活系 総排出量	t	t	t %
	1事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人 %
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	t	t	t %
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t %

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成23年度)	目 標 (平成30年度) A	実 績 (平成30年度) B	実績 /目標
総人口	15,282 人	13,202 人	13,589 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率			
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	567 人	511 人	506 人
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	3.7%	3.9%	3.7%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	3,211 人	3,745 人	3,141 人
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	21.1%	28.4%	23.1%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	8,190 人	4,988 人	5,937 人

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

(生活排水処理)

集落排水施設等

目標にわずかに達しなかったが、施設の対象世帯の加入は着実に進んでいると考えられる。

合併処理浄化槽等

合併浄化槽の設置は着実に進んでいるが、1基当たりの使用人数が想定していた人数より少なくなったこと、既存の合併浄化槽を設置している家庭の転出等が多かったこと、さらに、下水道等の整備地区の下水道等への切り替えによる減少が考えられる。

汚水衛生未処理人口

人口減少が予測を下まわったことにより汲取り世帯(計画収集世帯)、自家処理世帯、単独浄化槽処理世帯が見込みより減少しなかったこと、合併浄化槽等が目標を達成できなかったことにより、汚水処理人口の増加が想定を下回ったことである。

3 目標達成に向けた方策

(生活排水処理)

集落排水施設等

施設への加入をさらに進めるため、広報等により住民に加入を促すものとする。

合併処理浄化槽等

汲取り便所や単独浄化槽からの合併浄化槽への切り替えの必要性を住民に周知するため、今以上に広報等で情報を発信していくものとする。さらに、浄化槽設置整備事業補助金や浄化槽維持管理費補助金など、使用者にとってメリットのある補助金についての周知徹底を図るものとする。

汚水衛生未処理人口

下水道や集落排水施設の利用促進、合併処理浄化槽の設置推進で、汲取り便所や単独浄化槽からの切り替えを進めることにより、未処理人口の削減を行うものとする。

(都道府県知事の所見)

【生活排水】

汚水衛生未処理人口の減少に向け、合併処理浄化槽への転換推進及び、広報紙等の啓発活動を強化し、引き続き汚水処理人口が増加するよう、経済的かつ効率的な整備を図られたい。